

赤坂剣友会訪問（赤磐市）

昭和55年創立の歴史と伝統ある「赤坂剣友会」。

今回、岡山県剣道連盟から専務理事の田中早苗先生、普及委員会から山本雄三、藤原尚章、遠藤公介の計4名が道場訪問ということでおじゃまさせていただきました。

赤磐市立軽部小学校体育館の入口に入るや否や、剣道で言う先を取られたかのごとく元気で明るい「こんばんは」という挨拶で歓迎をうけた。

基本を重視した指導で高馬麻美選手（平成20年度玉竜旗高校剣道大会優勝時の大将）をはじめ、多くの選手を輩出している赤坂剣友会。その代表であり、また赤磐市剣道連盟会長である額田 優先生（教士7段）にお話を聞きました。

★額田 優先生の言葉

毎週火曜日と土曜日に1時間半の稽古をしています。

生徒数は中学生を含めると32名、指導は担当制で行っています。

指導については、勝負にこだわることなく一生涯剣道が出来るよう基本や礼儀作法を重視した指導を行っています。

40年前に作成した「五つの誓い」を現在も稽古前後に唱和させています。子供たちには、剣道が続けるよういつもお話をしています。今年小学校を卒業した6名の子供たちは、有り難いことに、中学生になっても剣道が続けてくれています。

これからも生涯剣道を全うしつつ、剣道の良さを広めるため、また、子供たちが立派な大人になるため、指導に携わっていきたいと思います。



<赤坂剣友会五つの誓い>

- ◎ 剣道をする人は、いつも礼儀正しくします。
- ◎ 剣道をする人は、“はい”と言う返事をし、すぐ実行します。
- ◎ 剣道をする人は、友達を大切にし、いつも仲良くします。
- ◎ 剣道をする人は、お父さん、お母さんに感謝し、孝行します。
- ◎ 剣道をする人は、苦しいことを乗り越え、何事も途中やめはしません。



★保護者より

剣道を始めさせたきっかけについてお話を聞いてみた。

礼儀作法を子供に身に付けさせたかったので、がまん強い子供になってほしいので、喘息があり、丈夫な体になってほしかったので等、剣道を始めさせたきっかけは様々であった。

入会後はわがママがなくなった、少しおとなしくなった、体も丈夫になってきた等の声が聞かれた。



★むすびに

当日、ご対応頂きました先生方、保護者の皆様に感謝申し上げますとともに、赤坂剣友会の今後益々の発展をお祈り申し上げます。大変お世話になり有難うございました。

